

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和3年度上半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(3) 在宅医療の充実および在宅医療・介護連携を図るための体制の整備				
評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
⑤もーやっこネットワークシステム登録患者数 ※累計値	介護 医療	1,533 人	1,504 人	B
		新しい生活様式下で利便性が向上するとともに、医師の利用促進があり、登録が増加している。		
⑤ もーやっこネットワークシステム登録医療機関・事業者数 ※累計値		157 件	227 件	A
		地域の薬局や新規事業者の登録が増加しており、年間目標値を大幅に超えることができた。		
⑤ もーやっこネットワークシステム投稿件数 ※累計値		68,698 件	55,072 件	B
		情報共有ツールを通じた Web 会議の運用が開始し、使用頻度が増加した。		
⑥在宅医療介護 相談件数 ※年間合計	医療	270 件	153 件	A
		関係者へ相談体制の周知を図る工夫をし、活用できている。		
⑦地域住民の普及啓発（出前講座） 件数 ※年間合計	医療 地域	26 件	1 件	D
		新しい生活様式下における、開催方法の検討が必要。		

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

担当部署評価

新しい生活様式下において、在宅医療・介護連携推進事業における情報共有ツールを利用した連携強化が行えているため、引き続き取り組みを進めていく。また、在宅医療・介護関係者に関する相談体制の構築も維持できている。出前講座は開催方法について再考する。

評価委員会評価

上半期において、各事業はおおむね達成できている。
もーやっこネットワークシステムについて、瀬戸市は県内でも登録患者数が多く、積極的に活用できているため、継続してほしい。
在宅医療介護相談件数については、コロナ禍の影響もあり在宅希望の患者が増加し、相談件数もかなり伸びているため、評価できる。
出前講座については、新しい生活様式下での開催方法の見直しを検討してほしい。